



広報えひな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬155
☎ (0462) 31-2111

ドーンと"芸術の秋"満開



とても素人とは思えない大歌舞伎

市民文化祭に67団体

市民文化祭は、市民のみんなの創作活動の成果を披露する場として親しまれ、毎回「芸術の秋」を楽しむつどする家族連れでぎわっています。

今日は、展示部門、出演部門に六十七団体が参加し、書道、美術、茶道、手芸、菊花などの各種作品の展示と舞踊や各種演劇の披露などを行います。

また、六日、七日には来場者が自由に参加できるコーナーとして「生け花教室」「書に親しむコーナー」「フラワー・デザイン教室」などを行います。

非行防止ボスター展

十一月六日(土)、七日(日)午前十時～午後二時、市指定重要無形文化財に指定舞伎を上演します。昭和五十年代に選ばれています。

▽上演時間 午後二時～五時
▽演目 菅原伝授手習四段
目 項寺小屋の場、絵本太功記十
段目 尼ヶ崎闘居の場
▽問い合わせ ソーシャル・セーフティ
▽展示時間 午前十時～午後二時
▽問い合わせ 社会教育課(内48)へ。



私にも作れるかしら

市民文化祭プログラム	
展示部門	
11月6日(土)、7日(日)、10:00～16:00	
○文化会館	菊花・盆栽
○中央公民館	華道・手芸・食生活・美術・茶道・俳句・詩句・短歌・万葉書道・茶道・中心作展示・日本画・写真・園児・児童館作品展・高齢者作品展
○総合福祉社会館	
出展部門	文化会館ホール
10月30日(土) 14:00～17:00	
素人歌舞伎「菅原伝授手習四段目 寺小屋の場」「絵本太功記十段目 尼ヶ崎闘居の場」	△演目 △展示時間 午前十時～午後二時 ▽問い合わせ
「新日本舞踊・民謡舞踊・劍舞」(中野田・下今里) 演奏	
11月3日(水) 14:00～15:30	
平成5年度文化講演会「近頃私の思うこと」	△時間 十一月六日(土) 午後二時半～三時 △申込 午前中に市文化会館ホール内史
講師 内藤国雄(詩歌九段)	温故館で解散△定員 先着三十人△申込 午前中に市文化会館ホール内史
11月6日(土) 10:00～15:30	探勝会(玉手英四郎会長)が中央公民館から七重塔と相模國分寺・温故館を歩く「えひな史跡巡り」を行います。ぜひ、ご参加ください。
日本舞踊・新日本舞踊・民謡舞踊・劍舞・謡曲・詩吟・民謡三味線・津軽三味線	△時間 十一月六日(土) 午後二時半～三時 △申込 午前中に市文化会館ホール内史
11月7日(日) 10:00～15:30	国元合唱会・新日本舞踊・日本舞踊・さら踊り・フォークダンス・民謡舞踊・バレエ・ジャズダンスなど

プラネタリウム

毎週水曜日、市図書館で行っているおはなし会が十一月三日(火曜日)午後三時半～四時まで四回を迎えます。

▽日時 十一月三日(火)午後三時半～四時
▽場所 市図書館二階視聴覚室△内容 お話
△申込 昨日午前九時より受付を開始します。
△問い合わせ 社会教育課(内48)へ。

えひな史跡巡り

十一月六日(土) 海老名市史跡探勝会(玉手英四郎会長)が中央公民館から七重塔と相模國分寺・温故館を歩く「えひな史跡巡り」を行います。ぜひ、ご参加ください。参加無料。

文化講演会

十一月三日(水)午後二時半～三時半△時間
△申込
午前中に市文化会館ホール内史

国庭九段を講師に文化講演会を行います。入場無料。

▽時間 午後二時半～三時半△時間
△申込
午前中に市文化会館ホール内史

市内在住の勤労者△対象
千百人(電話申込)△問い合わせ
合せ 中央公民館(32-3223)へ。

紙切り演芸

十一月七日(日) 市図書館前

広場で、奥だけさんによる紙切り演芸を行います。入場無料。

△問い合わせ 市図書館(31-5152)へ。



「青年の祭典」実行委員会では、車いすを福祉施設に寄贈するため「ロータスクーポン」を集めています。

文化祭の期間中、会場に收集箱を設置していますので、善意のご協力をお願いします。

活動の成果を披露
中学生の文化発表会
市内中学校文化部の生徒たち
にとって、発表の場であつた他校
の音楽会が、十月二日、三日
の両日、市文化会館で行われた。
大ホールでは演劇、ダンス、
吹奏楽、ギター、コーラスなど
計十三の部から約四百五十人が
出演、日々培つた見事な演技

「」と、驚く年
学生が描いたの
配の来場者も。

フォトピックス



卓球などで家族の時間。楽しんだ

体育館など無料開放 ファミリースポーツデー

“安全性”を再確認
みんなの消費生活展
「安全ですか？あなたのくら
し再点検：『壳をテーマとした』み

十五日から三日間、ダイエーカー海
老名店で行われ、来場者は一万
人を超えた。商品の使用方法に
対する警告表示例や、子供が手
をはさんでけがをしたベビーフ
ェンスなどの事例が紹介され、
身近にある生活用品の危険性を



欠陥生活用品の実例を展示

介護機器に注目

社会福祉大会に千人

社会福祉に対する意識の高揚
を目的に、九月十九日、市文化
会館で「社会福祉大会」が行わ
れた。当時は、社会福祉事業に功績
のある市民委員ら三十人に表
彰状が贈られた後、演芸や畠山
みどりの歌謡ショードが行われ、

訴えた。来場者からは、「私の子
供もおもちゃでけがをした」と
があるので、これからは製造者
側の責任を含めて安全性をチエ
ックしたい」との声も。
また、各種団体によるリフォ
ームや消費拡大の研究成果な
ども展示され、生活に役立つと
好評だった。



来場者は各種機器に関心が…

われ、高齢化社会を反映してか、
大勢の人たちが介護機器に関心
を示していた。



部活動で培つた演奏に拍手が…

海老名むかしむかし

333・3838

電話で海老名の昔ばなしを聞けます。
10月13日～11月1日 第14話 蛇食い蟲は門
11月2日～11月23日 第15話 亂世の妙技で弧を捕える

や演奏には、約
千人の来場者
から拍手が送
られた。また、展
示室には美術
部、イラスト部
に連絡され、
運動公園内の体育施
設を無料開放し、スポ
ーツやレクリエーション

ンを楽しんでもらう「ファミリ
ースポーツデー」が、九月二十
日の秋分の日に行われた。
当日は雨天のため、参加者は
屋内ブールでの水泳と、総合体
育館内での球技に専念。
総合体育館では、卓球の得意
なお母さんを講師にして、ミニ
グ室でウェートトレーニングに
励んだお父さんたちからは「日
ごろの運動不足を痛感しまし
た」との声が聞けた。

分かれてバドミントンの試合を行
う子供たちのグループで、にぎ
やかな秋分の日に行なわれた。また、同館トレーニング
室でウエートトレーニングに
参ったお父さんたちからは「日
ごろの運動不足を痛感しまし
た」との声が聞けた。

親戚の家に泊まつたその晩
は、ちょうど三百二十日の風
台風で、雨は降らなかつたが
物すごい風が家をみしめと
きませ。ケヤキの屋敷木が
夜びいて唸り続けていた。よその床ではある
慣れないとそのまま寝た布団に火が回
ったまま眠る。夜回りをしてはらあくした
ことのないよその床ではある
し、こんな時に火で出だら
寝つかれず、まんじりともしな
いで夜を明かしたが、その激
しい風の中を、夜回りが金棒
を曳きながら何べんも屋敷内
を見回つた。

翌朝、この感心な夜回りの
ことをその主人に話したら
いいの。そこで、その激
しい風の中を、夜回りが金棒
を曳きながら何べんも屋敷内
を見回つた。

夜回りをしたなどという話は
聞いたことがない。がち
ねんがちやん。じやら、じ
らこし、こしていう変な
音が納得できず、音が切
られていた。などという話も
いうと、

しかしながら、狸が金棒を持つて
いたまま眠る布団に火が回
った。つまり、金棒に火が回
ったまま眠る。夜回りをしてはらあくした
ことだつた。金棒が金棒を持
つて、家人の目のを醒まさせると
いう意味もある。拍子木の音
で目を醒ましたら焦げ臭いの
だけではなく、拍子木や金
棒で家人の目のを醒まさせると
いう理で、何かと家のために尽
くしてくれるのだ、というこ
とだつた。

しかし、狸は金棒を持つて
いたまま眠る布団に火が回
った。つまり、金棒に火が回
ったまま眠る。夜回りをしてはらあくした
ことだつた。金棒が金棒を持
つて、家人の目のを醒まさせると
いう理で、何かと家のために尽
くしてくれるのだ、という理だ
った。金棒が金棒を持つて、家人の目のを醒まさせると
いう理で、何かと家のために尽
くてくれるのだ、といふ

いので、残り火を火消臺へ
入れて運ぶ道具と金棒箸がそ
の柱に掛けた。狸は、そここの家
裏口に姿を現わしたりして不
ぞれを使つたのだろう。他
の柱に掛けたから、狸
の柱には使つたのか、最近
では通り抜けができる家は少
なくなつてしまつた。

さて、老人の話をみると、
自然に知るのだろう、といふ
ことだつた。金棒が金棒を持つて、家人の目のを醒まさせると
いう理で、何かと家のために尽
くてくれるのだ、といふ



第312話

狸の夜回り

古くから屋敷内に住んでいた
口でありのものかと尋ねたら、
「古くから屋敷内に住んでいた
のです」
と意味ありげに言葉を濁し
た。広い屋敷だが、中に家作
があるなどとは今まで聞いた
ことがないので、古くからの
使用者でも住ませているの
かと重ねて聞くと、
「店子といつても人間では
なく理だよ。アハハハ」
と笑い出した。驚いて、狸
が夜回りするのかと聞いた
ら、曾祖父さんのところから住
出する前の行商人たちは、大抵

農家で、まどや風呂場に使
う火箸は頑丈で長く、二本を
縦や横で金棒を曳く
上手に引きすれば金棒を曳く
ような音がわかるわけだ。
この親戚の風呂場は別棟

開放的で、門や木戸の
内に住んでいたなどは聞
てきませんが、そういうこと
は周囲の人たちのほうがよ
く知つているものです」

と笑って、余計なことは話
してくれなかつた。

注 矢尻：家尻ともい
う。家や土蔵の後方のこと。泥棒

などが家や土蔵などの壁に穴
を開けることを矢尻切りとい
う。

（小島直司）